

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2011-525176(P2011-525176A)

【公表日】平成23年9月15日(2011.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2011-037

【出願番号】特願2011-512880(P2011-512880)

【国際特許分類】

A 6 1 K	8/898	(2006.01)
A 6 1 Q	1/00	(2006.01)
A 6 1 Q	1/04	(2006.01)
A 6 1 Q	1/10	(2006.01)
A 6 1 Q	17/04	(2006.01)
A 6 1 K	8/06	(2006.01)
C 0 8 G	77/38	(2006.01)
B 0 1 F	17/52	(2006.01)
B 0 1 F	17/54	(2006.01)
C 0 8 G	77/26	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	8/898
A 6 1 Q	1/00
A 6 1 Q	1/04
A 6 1 Q	1/10
A 6 1 Q	17/04
A 6 1 K	8/06
C 0 8 G	77/38
B 0 1 F	17/52
B 0 1 F	17/54
C 0 8 G	77/26

【誤訳訂正書】

【提出日】平成24年6月5日(2012.6.5)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

C<sub>1</sub> ~ C<sub>18</sub> 炭化水素残基 R<sub>1</sub> の例としては、アルキル残基、たとえばメチル残基、エチル残基、n - プロピル残基、イソ - プロピル残基、n - ブチル残基、イソ - ブチル残基、tert - ブチル残基、n - ペンチル残基、ネオ - ペンチル残基、tert - ペンチル残基、ヘキシル残基、ヘプチル残基、たとえば n - ヘプチル残基、オクチル残基およびイソ - オクチル残基、たとえば 2 , 2 , 4 - トリメチルペンチル残基、ノニル残基、たとえば n - ノニル残基、デシル残基、たとえば n - デシル残基、ドデシル残基、たとえば n - ドデシル残基、シクロアルキル残基、たとえばシクロペンチル残基、シクロヘキシル残基、シクロヘプチル残基およびメチルシクロヘキシル残基、アリール残基、たとえばフェニル残基およびナフチル残基、アルカリール残基、たとえば o - 、 m - 、 p - トリル残基、キシリル残基およびエチルフェニル残基、アラルキル残基、たとえばベンジル残基、 - および - フェニルエチル残基がある。

## 【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0061

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0061】

油ベースの本発明による組成物は、好ましくは直鎖または分枝状の飽和または不飽和のC<sub>7</sub>～C<sub>40</sub>炭素鎖を有する炭化水素油類、たとえばドデカン、イソドデカン、コレステロール、水素化ポリイソブチレン類、ドコサン類、ヘキサデカン、イソヘキサデカン、パラフィン類およびイソパラフィン類のほか、動物および植物由来のトリグリセリド類、たとえば牛脂、豚脂、ガチョウ脂、ペルヒドロスクアレン、ラノリン、ヒマワリ油、トウモロコシ油、大豆油、米油、ホホバ油、バブッシュ(babu s s c u)油、カボチャ油、ブドウ種子油、ゴマ油、クルミ油、アブリコット油、マカダミア油、アボカド油、スイートアーモンド油、ハナタネツケバナ(lady's smock)油、ヒマシ油、オリーブ油、ピーナッツ油、菜種油およびヤシ油、ならびに合成油類、たとえばピュアセリンオイル(purcellin oil)、直鎖および/または分枝脂肪アルコール類および脂肪酸エステル類、好ましくは6～18個、好ましくは8～10個の炭素原子を持つGuérbetアルコール；直鎖(C<sub>6</sub>～C<sub>13</sub>)脂肪酸と直鎖(C<sub>6</sub>～C<sub>20</sub>)脂肪アルコールとのエステル；分枝(C<sub>6</sub>～C<sub>13</sub>)カルボン酸と直鎖(C<sub>6</sub>～C<sub>20</sub>)脂肪アルコールとのエステル、直鎖(C<sub>6</sub>～C<sub>18</sub>)脂肪酸と分枝アルコール、特に2-エチルヘキサノールとのエステル；直鎖および/または分枝脂肪酸と多価アルコール(たとえばダイマージオールまたはトリマージオールなど)および/またはGuérbetアルコールとのエステル；C<sub>1</sub>～C<sub>10</sub>カルボン酸またはC<sub>2</sub>～C<sub>30</sub>ジカルボン酸のアルコールエステル、エステル、たとえばアジピン酸ジオクチル、ジイソプロピルダイマージリネオラート；プロピレングリコール/ジカプリレート、またはワックス、たとえば蜜蠟、パラフィンワックスまたはマイクロクリスタリンワックス、任意に親水性ワックス、たとえば、セチルステアリルアルコールなどと組み合わせたもの；フッ素化および過フッ素化油(perfluorinated oil)；C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のモノグリセリド、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のジグリセリド、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のトリグリセリド、たとえばカブリル酸/カブリン酸のトリグリセリド、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のエチレングリコールモノエステル、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のエチレングリコールジエステル、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のプロピレングリコールモノエステル、C<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸のプロピレングリコールジエステル、および上記の種類の化合物のプロポキシル化およびエトキシリ化誘導体を含んでもよい。カルボン酸は、直鎖または分枝アルキル基または芳香族基を含んでも構わない。例として、セバシン酸ジイソプロピル、アジピン酸ジイソプロピル、ミリスチン酸イソプロピル、パルミチン酸イソプロピル、プロピオン酸ミリスチル、ジステアリン酸エチレングリコール、パルミチン酸2-エチルヘキシル、ネオペンタン酸イソデシル、マレイン酸ジ-2-エチルヘキシル、パルミチン酸セチル、ミリスチン酸ミリスチル、ステアリン酸ステアリル、ステアリン酸セチル、ベヘン酸ベヘニル、マレイン酸ジオクチル、セバシン酸ジオクチル、オクタン酸セチル、ジリノール酸ジイソプロピル、カブリル酸/カブリルトリグリセリド、PEG-6カブリル酸/カブリルトリグリセリド、PEG-8カブリル酸/カブリルトリグリセリド、リシノール酸セチル、ヒドロキシステアリン酸コレステロール、イソステアリン酸コレステロール、グリセロールのC<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>モノエステルおよびポリエステル、たとえばトリベヘン酸グリセリル、ステアリン酸グリセリル、パルミチン酸グリセリル、ジステアリン酸グリセリル、ジパルミチン酸グリセリル、糖類のC<sub>1</sub>～C<sub>30</sub>カルボン酸モノエステルおよびポリエステル、たとえばテトラオレイン酸グルコース、大豆油脂肪酸のグルコーステトラエステル、大豆油脂肪酸のマンノーステトラエステル、オレイン酸のガラクトーステトラエステル、リノール酸のアラビノーステトラエステル、テトラリノール酸キシロース、ペンタオレイン酸ガラクトース、テトラオレイン酸ソルビトール、不飽和大豆油脂肪酸のソルビトールヘキサエステル、ペ

ンタオレイン酸キシリトール、テトラオレイン酸スクロース、ペンタオレイン酸スクロース、ヘキサオレイン酸スクロース、ヘプタオレイン酸スクロース、オレイン酸スクロースを挙げることができる。